

ようこそ三浦太鼓店へ！



初代 彌市(やいち)

1865年、慶応元年に三浦太鼓店を創業した三浦彌市。その後、彌市の名は代々受け継がれ、現在の社長が五代目になります。その中で、受け継がれてきたものは名前だけではなく、太鼓作りの技術・太鼓屋としての精神も同時に受け継がれてきました。仕事は丁寧に・常に誠実であれ・お客様に喜んでもらえるモノをつくる。現在の社是になっている言葉でもあり、太鼓屋としての、職人としてのあり方も昔から変わらず三浦太鼓店にはあります。

和太鼓はいきている

～伝統を守り、伝統を創る～

vol. 4 2013年11月



伝統を守り

二代目・三代目彌市の手掛けた太鼓が修理の為帰ってきた!!~感動の再開物語~

ある日、西尾市の白山神社さんから1台の太鼓が修理の為、三浦太鼓店にやってきました。そしてその1週間後、岡崎市内にある綿積神社さんから同じように修理の太鼓がやってきました。2台とも歴史を感じる趣のある太鼓。

皮の張替えの際、まず最初にやる事は鉦(びょう)を外すことです。鉦を1つ1つ外していくのはとても大変な作業ですが、その分、楽しみなこともあります。それは太鼓の胴の中には製造年月日や、製造者の名前が書かれています。何処のどなたが、いつの時代に手掛けた太鼓なのか、皮を外す瞬間は毎回とってもワクワクするんです(-)



白山神社

綿積神社



鉦外しの様子

今回やって来た2台の太鼓。同じ日に鉦を外すことになり、いつものように1つ1つ鉦を外していきました。まずは白山神社さんの太鼓から。皮をはがし、中にはなんと書いてあるのかな?と覗き込んでみると・・・

なんとそこには!!!! 三代目 三浦彌市

おじいちゃんの名前が(>_<)!! そうです、この太鼓は祖父が60年前に手掛けた太鼓だったのです!祖父の手掛けた太鼓に出会えた事に感動です!

続けて綿積神社さんの太鼓の皮を外していきます。

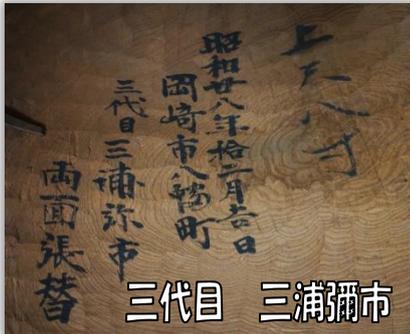
今度は何が書いてあるかなあ、と中を覗くと・・・

・・・なな、なんと!!!! 二代目 三浦彌市

二代目の銘が書かれているではありませんか!!! 彌市の銘が刻まれている太鼓が修理で当店に来ることはたまにあります。しかし、今回のように二代目三代目の太鼓が同じタイミングに来るなんて、初めてのことです。

長い年月を経て、二代目三代目の太鼓が今、三浦太鼓店に帰ってきたんです。

気付いた時には、**祖父たちの太鼓に抱きついていました!!!!**



三代目 三浦彌市



二代目 三浦彌市



太鼓修理の際、中に何が書いてあるかも楽しみですが、先代達の技術を見て・触れて・感じ・学ぶことも楽しみのひとつなのです!

今回の様に古い太鼓になっていくと、いくつもの歴史が刻まれていきます。修理の太鼓が来るたびに私たちは太鼓に刻まれた歴史を感じ、想いを込めて向き合います。そして、修理が終わると胴の中にまた新しい銘を刻みます。

「五代目 三浦彌市」 新たな息吹が吹き込まれた太鼓は、素敵な音色を奏でてくれました。次は何代目の三浦彌市が手がけることになるのでしょうか・・・



今回、五代目が仕上げた三代目の太鼓

伝統を創る

今回は、担ぎ桶の音に迫る!!!

和太鼓と言っても、いろんな種類や音、使い方、最近では様々な演奏スタイルがありその可能性が広がっています。今回はその中でも唯一、自分自身と常に密着しながら演奏する担ぎ桶太鼓。地域によってはまさに、抱きかかえて演奏する事から抱え桶太鼓と呼ぶところもありますね～。だからこそ当店では太鼓と自分が一つになれるような音を追求し続けています！

今回注目したのは胴!!

たまたま当店にある1本の桶胴を組み上げたところ、今までに感じたことのない音が鳴ったんです。音の事なので言葉で表現、伝えることは非常に難しいですが音の深さ、響き、バチのタッチ、胴と皮との相性、どれもバツグンでした。これは!?なんだ!? こんな太鼓が作れたら日本一! いや、世界一の桶太鼓が作れるのではないか(笑) いやっ笑っている場合でなくまじめな話です!(^^)!

そこでその原因を探るべく早速研究開発!

もしかしたら胴のカタチが影響しているのではないか!? と思い全くストレートな桶胴とふくらみをつけた桶胴を試作し、テストしてみることに! サイズは1尺5寸用の桶胴に担ぎ用馬皮を。胴の材料はどちらも同じ杉材。さあ、テスト開始です!!



なぜだ、なぜだ!??

明らかに音の違いが出るはずと確信して臨んだテストでしたが、正直明らかな違いは感じられませんでした(ノド)!!

いざっ!! あ、あれ?? (°o°;;

機械計測したら、波形や周波数に違いはあるのですが、明らかに響きや音の深さに変化をあたえるほどのものではありませんでした。ただ、先に紹介した当店にあった胴とはやはり音が明らかに違う。

う〜ん・・・音の良さに影響するのは胴のカタチではないのだろうか・・・

あっ!!もしかしたら胴の材質そのものが影響しているのかもしれない!! くり貫きの長胴太鼓なんかは、ケヤキ材かタモや栓などの目有材とは胴のカタチや大きさが同じでも明らかに“音”が違う! 桶胴も材料によって音が変わるのでは? そもそも、桶胴は昔から杉やサワラという材料を主に使ってきたけれど、もともとは、醤油や酒樽、風呂桶など中に水分を入れる事を目的にした時に相性のよい材料でした。太鼓の“音”というのに突き詰めた材料ではないのでは! ?と、すると別に杉材やサワラにこだわらずに音を追求したら太鼓にあう材料があるかも!

思い立ったら即行動の私は早速材料探しに奮闘し見つけたのがこの材料! →

材料がいったいどういう木材なのかはまだマル秘ですが(^^)

次回はこの材料の違いによるサウンドチェックを報告したいと思います!

おたのしみに!!!



皆様との一期一〇(えん)に感謝!!

9月15日(日)に岡崎市民会館で行われた、〇えん〜ひとつの太鼓から〜vol.2、皆様のおかげで無事成功することが出来ました!!当日、心配されていた天気も、お客様、出演者、スタッフ、全員の祈りが届いたのか少し雨がぱらつきましたが、台風が近づいているとは思えないほど良い天気!! 本当によかったです(^-^)

さて、舞台準備も整い、〇えんの成功を祈願し出演者・スタッフ全員で円陣!!

本番前、舞台上に集まり、全員で円陣!!



掛け声は 一期一〇(えん)!!



各チーム代表の紹介挨拶

今回、全国各地から集まってくれた出演団体はこちら!!

各チーム代表の挨拶があり、ついに〇えん開催です!!



和太鼓 蓮

神奈川県



松平わ太鼓

愛知県豊田市



和太鼓グループ彩〜Sai〜

東京都



和太鼓零〜ZERO〜

愛知県岡崎市



和太鼓塵輝

愛知県小牧市



備中温羅太鼓

岡山県

出演団体それぞれに違ったカラーや個性、そして地域性がすごく出ていたLIVEでした。私達も自分達の出番以外は、各団体さんの演奏に見入ってしまいました!そしてフィナーレは、今回の為に和太鼓塵輝のリーダー吉村純一さんが作曲してくださった、合同曲「一期一〇〜eternal circle〜」!! 6団体がひとつに、そして会場も一体となれた最高の曲でした(^-^)

私達は数々の素晴らしいご縁によって、支えられ生かされています。人はひとりなんかじゃ生きられない!私達自身が今回の公演テーマに掲げた“縁”のチカラを、誰より何より強く感じましたm(_ _)m全ての方々とのご縁に、心から感謝いたします!!

本当にありがとうございました!!

一期一〇〜eternal circle〜



**フィナーレは出演者全員で合同曲
66人で奏でる音は感動的でした!!**

フィナーレ曲の感動は動画で見れます!!

えん〜ひとつの太鼓から〜 ←webで検索!

太鼓づくり vol. 4

皮づくり その4

活きた和太鼓の音を届ける

前号では、太鼓の皮にロープを掛ける箇所をつくる“クダ付け”という作業をご紹介させていただきました。今回はついに皮を胴に張っていきます。皮を張る作業には、それぞれの太鼓に合わせて型を取る“仮掛け(かりがけ)”という作業と、その型を取った皮を実際に張り、鉸を打っていく“本張り(ほんばり)”の2工程があります。今回は本張り前の作業、仮掛けを紹介いたします！

そもそもどうやって胴に皮を張っていくか、みなさんご存知ですか？



皮張り作業はまず、左の写真の様に太鼓の皮の周りに取り付けたクダと胴を乗せた台をロープで固定します。そして、ロープを木の棒を使ってグルグルとねじってテンションをかけていきます。適当にねじれば良いのではなく、特に耳残しの太鼓では全体のバランスを見ながらねじっていきます。そうしないと、クダの部分が斜めになったりして格好の悪い太鼓になってしまいます。



油圧ジャッキ



次に、台にセットした油圧ジャッキで太鼓を持ち上げていきます。こうすることによって、皮が強く張っていけるのです！

油圧ジャッキ!!みなさまご存知でしょうか??

矢印の先にあるのが油圧ジャッキです。油圧ジャッキ1個で何

トンもの重さのものを持ち上げる力を持っています。

太鼓の上に人が乗る!??

さて! 次の工程は皆様おなじみ?の皮踏みに入っていきます! 皮踏みとは言葉の通り、太鼓の上に人が乗り、足で皮を踏んでいくことです。和太鼓は叩いていくと皮は伸びていき、音が低くなっていきます。なので、完成後に皮が伸びてしまうのを少しでも抑える為、この段階でしっかりと皮を伸ばす必要があります。皮の上に乗って破れたりしないの?とよく聞かれますが、太鼓の皮は人が乗る程度では破れません! むしろ、よく踏んだほうが皮がしっかり伸び安定した音になります。右の写真の様に、大きな太鼓になると数人で一緒に皮を踏んで伸ばすこともあります。



3尺2寸もの大太鼓!!
3人掛りで踏んでいきます

こうして一つ一つの太鼓に合わせて皮を作っていきます。次回はついに皮を張っていきます! 油圧ジャッキの何トンともいう力で、バランスよく皮を張り、音を作っていく様子を紹介していきたいと思えます! 是非、次回もおたのしみに(^)!

おやじのつぶやき

こんにちは！！太鼓屋のおやじです。
太鼓店新聞も4刊目になりました。
若手2人が頑張って作っています。
少しは褒めてやりたいと思います(^-^)
読んでくださるみなさんに伝わるものが
あったら嬉しいです。
さて、11月5日は、36年目の結婚記念日！！
女房と2人で関西の温泉地へ行ってきました。
2人での温泉は何年ぶりかな？
普段は仕事に追われているので、たまには
女房孝行も含め、のんびり過ごすのもいいも
のです。
でも帰ってきたら、おかげさまで仕事が山ほ
ど溜まっておりました！！笑
充電も満タンなので、これからまたバリバリ
いきたいと思います！！

編集後記

こんにちは☆新聞編集担当の三浦史帆です。
だんだん肌寒さを感じる時期になってきました
ね。体調を崩しやすい時期です(>_<) みなさ
ん、くれぐれもお体には気を付けてくださいね。
さあ、新聞もみなさまに支えられて第4号を
発行することが出来ました。購読希望のお問い
合わせをいただくと、とってもとっても嬉しい
です(^-^) ありがとうございます！ 三浦太
鼓店を、そして三浦太鼓店の太鼓をもっともっ
と知っていただく為、頑張っていきたいと思
います！
次号は新年号を予定しております(^-^) 今後
ともどうぞ、よろしくお願い致します。

<購読無料>

この新聞は不定期で発行しております。
購読ご希望の方はHPの三浦太鼓店新
聞請求フォームからご請求ください。

URL <http://www.taikoya.net/sinbun.html>

発行責任者：朝倉慶介 三浦史帆

〒444-0072 岡崎市六供町杉本 32-2

株式会社 **三浦太鼓店**

TEL(0564)21-2271

FAX(0564)21-2272

E-mail info@taikoya.net

URL <http://www.taikoya.net/>

新着&イベント情報

新作バチ登場！！

3丁・4丁用の雅バチ

おかげさまで大好評の三浦太鼓店オリジナル締太鼓
バチ“雅”。今回新たに、太鼓の大きさに合わせて
2種類のサイズをご用意！“太鼓が鳴る”を目指して
作りました。この音の鳴りを、是非あなたの手で実感
してみてください！



【商品名】雅(みやび)バチ3丁・4丁用 税込 2,100円

【商品名】雅(みやび)バチ2丁用 税込 1,890円

平成26年1月10日(金),11日(土)

今年もやります！東京展示会

匠の会の仲間、磯部ろうそく店・(有)ファナビス・(株)三浦太
鼓店による東京展示会。おかげさまで今年で4回目。今年
は六代目による和太鼓演奏を予定しております！！
皆様のご来場を心よりお待ちしております！！



【会場】ラパン・エ・アロ(1F)

【住所】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-44-2

【時間】10日(金)13:00~21:00・11日(土)10:00~17:00

【お問い合わせ】(株)三浦太鼓店 TEL:(0564)21-2271

HP、SNS紹介

・三浦太鼓店 HP

・六代目フログ

「和太鼓と生きる」

・三浦太鼓店

facebook ページ

